

**神戸市公共施設等総合管理計画改訂に係る個別施設計画策定等包括支援業務
参加表明書評価要領（公募型プロポーザル）**

1. ヒアリング対象事業者の選定方法

- (1) ヒアリング対象事業者の選定は、事務局が本要領に基づいて参加表明書の評価を行い、その評価を参考にして、委員会の審議により行われます。
- (2) 参加表明書の評価は、下記のとおりとします。
- ①各評価は、本要領に基づいた評価基準により予め事務局で行い、委員会に提出します。
- ②評価点の計算は、項目ごとの配点とします。
- ③本店の所在地による評価は、下記のとおりとします。

評価項目	評価事項	点数
本店の所在地	神戸市内に本店を置く場合	5
	上記以外の場合	0

※業務グループで応募する場合、代表事業者または構成事業者の本店が神戸市内にあり、当該事業者の業務分担率が 30%以上のとき、本店の所在地を神戸市とみなします。

2. 事業者の能力

(1) 資格者数（様式 1）

評価項目	評価事項	点数
CFMJ 数・公認会計士数・建築士数・技術士数	換算資格者数 10人以上	5
	7～9人	4
	5～6人	3
	3～4人	2
	2人以下	1

換算資格者数 = Σ (①CFMJ 資格係数 + ②公認会計士資格係数 + ③建築士係数 + ④技術士数)。

資格係数：各従事職員数において、

- ①CFMJ ……20人以上（係数3）、10人～19人（同2）、1人～9人（同1）
- ②公認会計士 ……20人以上（係数3）、10人～19人（同2）、1人～9人（同1）
- ③一級建築士 ……20人以上（係数3）、10人～19人（同2）、1人～9人（同1）
- ④技術士 ……20人以上（係数3）、10人～19人（同2）、1人～9人（同1）

※協力事業者の人数は資格者数に含みません。

(2) 同種又は類似業務実績（様式2）

同種又は類似業務実績は、平成26年4月以降の実績とし、次のとおり評価します。

（完了年月日が平成26年4月以降であり、参加表明書提出期限日において履行中または履行完了した公共施設マネジメント業務とします。）

※参加表明書作成要領の3(3)①の同種又は類似業務実績の関与した実績に基づき評価します。

※多年度にわたる業務のうち、予算措置の関係で年度ごとの契約となったものは「1件」の実績とします。また、業務に付随した追加等の業務も「1件」に含みます。

※5件以内の実績を上限に記載してください。評価点の高い上位3件を評価の対象とします。

過去の業務概要	公共施設マネジメント業務の実績点数		
	総合管理計画 及び 個別施設計画	総合管理計画 又は 個別施設計画	施設評価
同種	5	3	2
類似A	3	1	1
類似B	2	1	1

3. 担当チームの能力（業務責任者等の経験及び能力）

※副業務責任者が2名の場合には、各々の評価を合計します。

※担当者の評価は、上位5名の各々の評価を合計します。

(1) 専門分野の資格者の資格（様式3～5）

業務責任者、副業務責任者及び業務担当者について、次の評価点とします。

評価する資格	業務 責任者	副業務 責任者	業務 担当者
認定ファシリティマネジャー資格 (CFMJ) ※	3	1	—
公認会計士	3	1	—
一級建築士, 技術士建設部門（都市及び地方計画） ※	1	1	—

※CFMJ（Certified Facility Manager of Japan）：日本のFM資格制度協議会が認定するファシリティマネジャー資格

※公認会計士：公認会計士法に定める公認会計士

※技術士：技術士法に基づく技術士・建設部門（都市及び地方計画）

(2) 同種又は類似業務の実績の有無（様式3～5）

業務責任者，副業務責任者及び業務担当者について，業務実績と今回における役割実績より，次のとおり評価します。

①業務実績

参加表明書作成要領の3. (3)の同種又は類似業務実績の関与した実績に基づき評価します。

※業務責任者及び副業務責任者の実績については，以前に所属した事業者・官庁での実績も可としますが，その旨を明記してください。

過去の業務概要	公共施設マネジメント業務の実績点数		
	総合管理計画 及び 個別施設計画	総合管理計画 又は 個別施設計画	施設評価
同種	5	3	2
類似A	3	1	1
類似B	2	1	1

②携わった立場と今回の役割

今回の業務の役割（業務責任者・副業務責任者・業務担当者）における過去の実績に果たした役割より下記の評価をします。

過去の実績での立場・役割	今回の業務における役割（係数）		
	業務責任者	副業務責任者	業務担当者
業務責任者又はこれに準ずる立場	1. 0	1. 0	1. 0
副業務責任者又はこれに準ずる立場	0. 8	1. 0	1. 0
業務担当者の立場	0. 4	0. 4	1. 0

③同種又は類似業務の実績による担当チームの能力評価

業務責任者等の経験及び能力の評価点数は，「業務責任者の経歴等（様式3）」・「業務副責任者の経歴等（様式4，各副責任者ごと）」・「業務担当者の経歴等（様式5，業務関与ごと）」より，過去の業務実績の点数に今回の役割と過去に関わった立場より得られる係数の積より算定する。

例) 業務責任者が，過去の実績としてあげた業務が「政令都市の総合管理計画及び個別施設計画業務」に業務責任者として関わった場合

評価点：点「5」×係数「1. 0」＝5点

例2) 副業務責任者が，過去の実績としてあげた業務が「中核都市の総合管理計画業務」に業務責任者として関わった場合

評価点：点「1」×係数「1. 0」＝1点